

位置調整よりも簡単な スピーカー音質改善術

ここまででは主に「スピーカーの位置調整による音質改善術」をご紹介しました。しかし、このようなスピーカーの位置調整が難しいと感じるお客様には、もっと簡単に効果も高いスピーカーの音質改善術があります。それは、「置き台」の選択です。

オーディオボードの利用

スピーカーのキャビネット（筐体）は、ユニットの振動を受けて響きを生じます。ユニットを「弦」に例えるなら、キャビネットはまさしく「胴」です。多くの楽器は置き方や支え方（持ち方）で音が変わりますが、フロア型スピーカーも同様に「置き方」で音質が大きく変わります。

「置き方」で良くないのは、「柔らかいもの」、「響きの悪いもの」です。「柔らかいもの」とは畳やカーペットです。柔らかいものの上にスピーカーを置いた場合、中高音の明瞭度が上がらず、低音がプーミーになります。ソルボセインやゴムのような柔らかいものをスピーカーの下に敷くのも良くありません。

「響きの悪いもの」とは、煉瓦やコンクリートブロックのような多孔質で響きが鈍い物質です。これらの上にスピーカーをのせると、やはり中高音の明瞭度が低く低音がプーミーになります。また音もスピーカーの周囲にまわりついて音場が広がりにません。オーディオ用の硬質な台座として「御影石」が売られていますが、音が暗くなることが多く私はそれを好みません。

お薦めは、AIRBOW 人造大理石ボードやコーリアンボード。これらのボードは適度な強度と反発力を持ち、スピーカーやスタンドの下に敷くだけでスピーカーの音を驚くほど元気で明瞭にしてくれます。また、今年 Krypton から発売された天然木を使用したボード (AB-333) も響きの良いお薦めボードです。

スパイクが付いているスピーカーには、AIRBOW スパイクベースがお薦めです。頭頂部に凹みがある富士山のような形状の AIRBOW スパイクベースを皿形のメーカー純正スパイクベースと交換すると、スピーカーは俄然響きが良くなり、パワー感、音色の鮮やかさ、音の広がりが大きく向上します。

ブックシェルフ型スピーカーは、「スピーカー・スタンド」が重要です。メーカーが用意する専用スタンドでも、強度や響きの点で不十分なことがあります。逸品館お薦めのスピーカースタンドを一度お試しになりませんか？

セッティングの方向と効果を動画で確認

これらのセッティングについて詳しくは、ハイエンドショー東京 2013 年に逸品館が実施したデモンストレーション動画を次のページからご覧頂けます。

http://www.ippinkan.com/event_news/highend2013-autumn/highend2013-autumn.htm

また逸品館の Ustream チャンネルにも詳しい動画を掲載しています。

<http://www.ustream.tv/channel/ippinkan>

[逸品館 おすすめ スピーカースタンド]

TIGLON MGT-60S (ブラック)

希望小売価格 59,000 円 (ペア・税別)

一聴した瞬間、言葉を失いました。IMAGE11/KAI2 から中型スピーカー並みの低音が出たからです。こんな小さなスピーカーからグランドピアノの低弦が再現され、シンフォニーのスケール感も出てくるではありませんか！中高域の密度が上がリ、透明度が増します。低音がものすごく伸びるので、空間の広がりやスケール感が一気に倍増します。スタンドでこれほどスピーカーの音が変わるなんて！

TIGLON MGT-60W (ブラック)

希望小売価格 85,000 円 (ペア・税別)

開放的な一本足モデルに比べ、二本脚モデルでは音の密度感が高まり、低音の厚みや実在感が増してきます。少し音が暗い傾向を感じますが、そのニュートラルな雰囲気は二本足モデルの魅力です。軽やかに響くのが一本脚、重厚な厚みが出るのが二本脚という感じで、音色の好みで選び分けることができます。

KRYPTON SD-1(ペア)

希望小売価格 54,000 円 (ペア・税別)

無垢材を使ったゴムランバー材支柱に Krypton 社製オーディオボードと同仕様の鉄球サンドが入ったベース部で構成される総合重量 7.5kg の木製スピーカースタンド。スピーカーをしっかりと支えます。金属製スピーカースタンドとはひと味違う暖かい響きを楽しめる良品です。



ボードを使った 音質改善術

ウェルフロート・ボード

スピーカーを置くときに重要なのが床の強度です。従来のオーディオボードは、「機器をしっかりと固定する」という考えで作っていました。しかし、2010年 AIRBOW から、「機器を完全にフリーに設置する」ためのフローティング・システムを持つボードを発売しました。それが「ウェルフロート・ボード」です。このボードは振動の影響を大きく受けるアナログプレーヤーやディスクプレーヤー、さらに「スピーカーの設置」に絶大な効果があります。ウェルフロート・ボードの音質改善効果をスピーカー

を例にあげて説明しましょう。スピーカーユニットは前後方向に対称に動きます。従来のバネやゴムを使った「フローティング・システム」では、キャビネットに加えられた力が元に戻るときに「バネ」あるいは「ゴム」の「復元力」が加わり、もどりに「遅れ（バネ歪み・ゴム歪み）」が生じます。この余分な動きが、スピーカーの音を「バネ臭く」あるいは「ゴム臭く」していたのです。しかし、東大阪「ジークレフ音響の長田氏」が発明した、フローティング・システム（特許取得）は動きの吸収時にこのような歪みを発生しません。ウェルフロート・ボード上に設置したスピーカーは、ユニットの前後運

動が「ユニットの慣性力がスピーカーの重量によってほぼ完全にキャンセル」されるため、ユニット残存エネルギーによって発生する不要な共振や共鳴が消えてしまいます。また、このボードは上下方向もフローティングされているため、床との共振（スピーカーによる床鳴りのフィードバック・ループ）も効果的に遮断され、スピーカーの音が見違えるほど伸びやかに、軽やかに響くようになります。ウェルフロート・ボードの登場により、難しかった「スピーカーの位置調整」を精密に行わなくても、十分な明瞭度と音の広がりが得られるようになったのです。

フローティングボード WFB シリーズ



WFB-1515-4 (400x600x58mm/耐荷重15-150kg)

販売価格 46,200円 (税込)

WFB-0190-3 (490x440x58mm/耐荷重 1-90kg)

販売価格 39,000円 (税込)

WFB-0190-2 (450x350x58mm/耐荷重 1-90kg)

販売価格 39,000円 (税込)

WFB-0190-1 (400x250x58mm/耐荷重 1-90kg)

販売価格 39,000円 (税込)

愛用のオーディオ機器にぴったりのサイズのボードが欲しい。おまかせください。オーダーメイドのサイズをご用意しております。詳しくは、別冊 AIRBOW 冊子をご覧ください。

WFB-4449H/HD HD Model

ボード表面に「高摩擦」の特殊な塗膜を追加することで、ボードと機器間で生じていた僅かな「滑り(遊び)」を完全に排除しました。ボードと機器の摩擦が高まることで、ボードと機器が完全に一体化し、従来モデル比で低音の力強さと引き締め感、中高域の透明感が大きく改善した高音質モデルです。新たに施した特殊塗膜は非常に硬く、表面に傷が付かなくなりました(※木材強度は変わらないので、表面が凹むことはあります)。



WFB-4449H/HD

(440x490x58mm/耐荷重15-150kg)

販売価格 75,000円 (税込)

WFB-FOR Analogue (マットブラック仕上げ)

(475x375x58mm/耐荷重 1-90kg)

販売価格 49,300円 (税込)

WFB-A4 (295x210mm/耐荷重 1-18kg)

販売価格 19,000円 (税込)

WFB-0115-1 (125x150x55mm/耐荷重1-15kg)

販売価格 15,400円 (税込) /1枚

販売価格 28,800円 (税込) /2枚

販売価格 42,100円 (税込) /3枚

販売価格 69,900円 (税込) /5枚

販売価格 97,700円 (税込) /7枚



新型ウェルフロート・ボード HD

ウェルフロート・ボードは、レコードプレーヤーや CD プレーヤーの音質改善にも大きな効果がありますが、重量級スピーカーや真空管アンプなどにこのボードを使ったときに「重低音がやや柔らかくなる」傾向がありました。その原因は、「機器とボードの間で生じるわずかなスリップ」でした。このスリップにより、機器とボードの共振点がずれて、歪みが発生していたのです。そこでこの問題を解決するため、ボード表面に傷つき防止効果のある高摩擦コーティングを施した高音質モデル「4449H/HD」を発売しました。

ビート・ボード

ウェルフロート・ボードの考え方は、スピーカーや機器に発生する振動を「ボードが動くことでキャンセル(打ち消す)」というものです。これに対してビート・ボードは、「スピーカーや機器が発生する振動を音楽に変換する」という考え方で開発されています。多くの楽器は、発音部で生じる響きを胴で共鳴させ「より美しい響き」を発生しています。ビート・ボードはそれをヒントに、スピーカーや機器を「楽器のように美しく響かせること」を目的に作られていました。このボードを使うことで楽器の音色がより濃く鮮やか

になり、音の密度も向上します。ウェルフロート・ボードが実現した「開放感」とはひと味違う「高密度で濃厚な音」をビート・ボードは実現し、機器の音質を飛躍的に生々しくします。

ビート・レッグ

ビート・ボードは、Tiglon TMR シリーズラック専用のパーツとして開発されました。このパーツは、Tiglon TMR シリーズラックの高音質脚としてそのまま使えますが、このパーツを ADK Suoni、Quadraspire の交換用脚として使えるように改良したものがビート・レッグです。



Beat Board (Metal Base King×4個付属)
(600x500x105mm/耐荷重 200kg)

販売価格：
67,800円(税込)

Beat Leg / Cap

Leg : 7,200円(1個)28,800円(4個)

Cap : 2,570円(1個)10,200円(4個)

Cap+Legセット : 9,770円(1個)37,000円(4個)

Cap+Leg+Base Kingセット : 49,300円(4個)※すべて税込



※ADK Suoni、Quadraspire対応品が追加されました。